接着剤と塗料については井上氏が解説。3月20日のJIS改正で接着剤、保温材、断熱材の3規格をチャンバー法で行うことになった背景を説明。2～3年後にはトルエン、キシレン、アセトアルデヒドなど7物質が規制対象となるものと考え、デシケータ法ではホルムアルデヒドのみの測定ルムアルデヒドを発散しないものについては測定なしでF☆☆☆☆表示できる。JAIAの自主管理規定では、酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形、水性高分子－イソシアネート系などを対象に溶剤系は含まれていない。5月7日までに60社約3500品種の製品が申請されており、300ミリグラム以

姫野日本繊維板工業会専務は、繊維板・パーティクルボード（PB）のJIS改正について説明。3月のJIS改正ではホルムアルデヒド発散等級の表示のほかに、MDFの比重の上限をなくし、ウェットプロセスの有無でハードボードとの区分を行ったことを紹介。化粧MDFについては

高額の

リフォ
利用

住宅金融公庫がリフォームローンを利用した人に対し調査したところ、費用が高額につく増築工事が減少していることが分かった。ローン利用者の平均年齢は

数は407件。

リフォーム工事の内容をみると「修繕」が全体の69・3%と最も多かった。次いで、改築、増築となるが、費用が高額となる増築の割合が減る一方、工事規模の小さな単独工事（改築や修繕など1工事のみ）が増えた。

リフォームローン利用者

・2歳と横ばいだった。

リフォームローンを利用した人の世帯年収は516万1000円と前年から54万8000円低下し、経済環境が悪化していることがうかがえる。

リフォームの工事費用の平均額は814万2000円で、前年の877万4000円から微減となった。「増築工事のみ」の平均工事額は1139万1000円と微増、「修繕工事のみ」も394万3000円と微減となったものの、大きくは昨年水準と変わらないが、改築工事は前年の8

万円のうち持ち金でまことになっている傾

増築工事面積では、・4平方メ167・2平方メ増加幅は減

政策誘導工事の実施割程度で、ばいとなっリアフリー最も多かっ構造化が23ら5・7減

ウッドマイルズ研究会が発足

木材輸送エネルギーに着目

環境貢献資材を追求

地域材需要の活性化目指す

住宅に使用される木材を輸送エネルギーの観点から見直す「ウッドマイルズ研究会」が12日発足した。木材は他の資材に比べて製造過程におけるエネルギー消費が少ない環境貢献資材といわれているが、近年の外材輸入増から、これの輸送エネルギーが無視できない。このため木材の産地から消費地までの距離（ウッドマイルズ）や使用した木材の量と距離を表す指標（ウッドマイレージ）を開発・普及し、国内森林資源の有効活用こそが環境貢献及び循環型社会の構築に寄与することを明らかにする。会長は岐阜県立森林文化アカデミーの熊崎実学長。

同研究会は木材の輸送距離を短縮して輸送エネルギーの削減、さらには地域材の活性化を目指して立ち上げた。

木材を加工する際のエネルギーは鉄やアルミニウム等に比べて格段に小さく、これがエコ資材といわれるひとつの要因であった。しかし、近年は欧州材やさらには地球の裏側など遠距離輸送の木材が大きく進出している。この時の輸送エネルギーはばう大で、住宅を生産する全エネルギーに匹敵するほどといわれている。エコ資材の木材を使用したり、ロングライフ型住宅化、また住宅の省エネ化等をはかっても木材輸送にばう大な化石燃料・エネルギーを使用してはこうした目論見の意味が大きく失われる。このためウッドマイルズ、ウッドマイレージの指標を開発・普及させることで、木材輸送時のエネルギー消費を大きく削減する運動を展開していく予定。

具体的には、住宅の木材使用量、産地、輸送に関する調査、住宅に使用する木材の量と輸送距離に関する指標の確立や計算マニュアルの作成及びソフト開発、住宅のライフエネルギー研究に向けた専門家によるネットワーク構築、各種の勉強会の開催、などを行っていく。

会長のもとに運営委員会（代表＝藤原敬森総研理事）を設置して運営する。現在、会員を募集中。会費は正会員で個人が年5000円、法人は3万円。

問い合わせ等は岐阜県美濃市吉川町2355、同研究会事務局（電話・FAXとも0575・33・3981）へ。

改訂版ネダノンマニュ

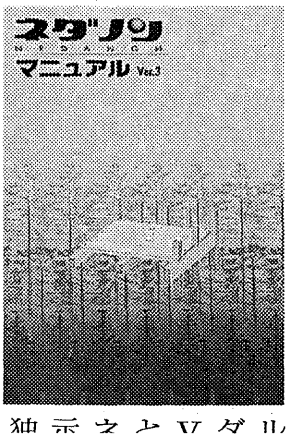
実験データ追加などで

—東京・東北合

東京合板工業組合（井上博理事長）と東北合板工業組合（野田章三理事長）

は、厚物構ンの性能や

した「ネダ



独示ネとVダル